



EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(13)



活動日時 2018年12月5日(水) – 12月18日(火)

活動従事者 桑山尚司, 丸山博章 (広島県西部教育事務所芸北支所・指導主事), 大坂遊 (教育研究推進員)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、ひろしま平和貢献ネットワーク協議会 (提案自治体：広島県) が受託したJICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」に、専門家の派遣で協力しています。12月5-18日に、EVRIメンバーの桑山、広島県西部教育事務所芸北支所の丸山博章指導主事がカンボジアへ渡航しました。

今回の研修目的は、「新シラバスの理念を実現するには、どのような教科書が望ましいか」、授業研究をとおして検討すること (パイロット調査) です。

12月5日-15日には、現地の教科書開発者や学校教員とともに、中学校3年生地理「カンボジアの経済」と小学校3年生道徳・公民「地雷と不発弾に対する地域の安全確保」の授業づくりに取り組みました。各単元で現行教科書を使った授業と新モデル教科書を使った授業

について、それぞれ指導案検討や模擬授業をとおした指導・助言を行いました。

16日には教育省の教科書開発者に対して、17日・18日には学校教員も含む研修参加者に対して、計4つの授業づくりの方向性を説明しました。具体的には、①「教科書を教える」から「教科書で教える」へ転換すること、②新シラバスが示す「知識」「スキル」「態度」の観点を各授業の具体的な子どもの姿として捉え直し、授業のねらいを明確にすること、③ひろしま型課題発見・解決学習を念頭に置きつつ、カンボジアの文脈で可能な限り子ども主体となる学習を実現することです。現地の授業者も懸命に新しい授業づくりに取り組んだことから、子ども主体の授業を可能にする新しい教科書のよさを参加者と実感することができました。

引き続き、今後も広島県教育委員会と連携しながら、支援を続けて参ります。

教育ビジョン研究センター (EVRI)



739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

